

# CS468

高出力 16 ポート・リーダライタ



UHF 帯の RFID は、遠距離での複数タグの同時一括読み取りを目的に応用されてきました。これからは、近距離での個品読み取りへの応用の拡大が期待されています。

CSL 社製 CS468 型 16 ポート UHF リーダは、業界初の 16 アンテナ・ポートを持つ UHF RFID リーダです。対応規格は EPC C1 Gen2(ISO/IEC 18000-6C) で日本、米国、欧州、中国、インドなど、世界各国の電波法規に対応する製品 (周波数帯は工場出荷時設定) が用意されています。

日本で開発されたソフトウェア資産は、リーダーとアンテナを交換すれば世界中で同一のシステムを運用することが可能になり、開発資産を有効に活用することができます。

接続可能な 16 台のアンテナに対して、リーダーの出力をポートごとに 0.5dBm 単位で設定することができ、タグとの安定した交信性能を実現することが可能です。

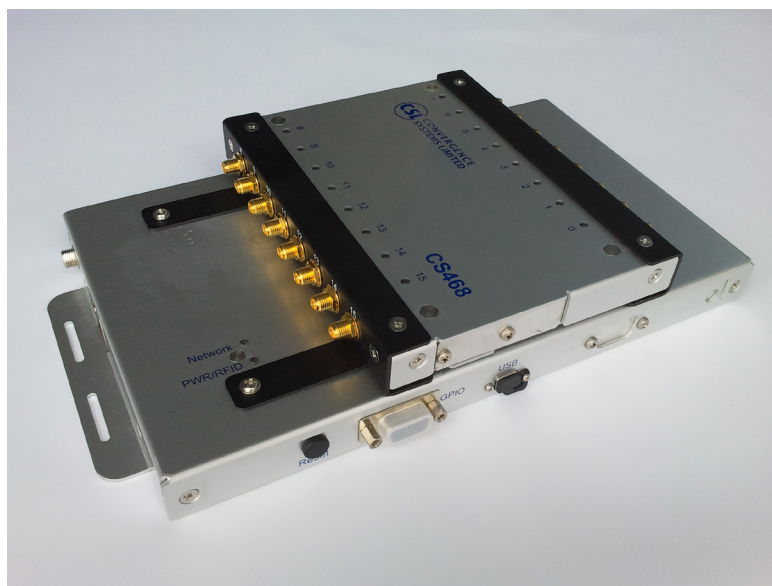
## 【特長】

- 世界標準 / EPC C1 G2 対応で世界各国規格の製品を提供可能
- マルチポート / 最大 16 台のアンテナを接続可能
- 多様な応用 / アンテナ選択により遠距離も近距離も自在に通信
- スマートシェルフに最適 / セルフフォーム<sup>®</sup> を使用して最適な近距離通信が可能  
(※セルフフォーム<sup>®</sup> は帝人(株)の登録商標です)

## 【用途】

- ◇スマートシェルフによる図書、文書、医薬品、衣類、宝飾品などの個品管理
- ◇生産工場、倉庫、物流などサプライチェーンにおける履歴管理
- ◇リース、レンタル品の入出庫や在庫の管理
- ◇駐車場、駐輪場などでの車両管理





## [ CS468 マルチポート UHF リーダ ] 仕様

寸法	幅 272.2mm × 長さ 150.1mm × 厚さ 47mm
重量	1200g
ポート数	16 ポート (送受信兼用)
プロトコル	ISO18000-6C, EPC UHF Class1 Gen 2, DRM 付
送信周波数 (工場出荷時指定)	916.8-920.4 MHz (1.2MHz 間隔 4 波) (日本) 865-868 MHz (欧州、CE) 865-867 MHz (インド) 902-928 MHz (米国、FCC) 920-925 MHz (中国、SRRC ほか)
受信方式	ミラーサブキャリア方式
送信出力	最大 30dBm
タグ読取速度	ポートあたり 150 タグ / 秒、最大 300 タグ / 秒
アンテナ・コネクタ	SMA (Reverse Polarity) コネクタ
外部制御	GPO × 2 系統、 GPI × 2 系統
上位通信方式	Ethernet , USB
その他通信方式	Ethernet -to- USB bridge Ethernet -to-Wi-Fi bridge ほか
動作温度	-20℃ ～ 50℃
保存温度	-40℃ ～ 85℃
動作湿度	最大 95% 以下 ※非結露
電源電圧	12VDC
対応アンテナ	CS773、CS778、セルクロス・シートアンテナほか
無線局種別	構内無線局「免許申請」が必要